

# のり色落ち被害、再び・・・

- 平成 15 年度 のり特定養殖共済の共済金は約 23 億円になる見込み -

平成 14 年度漁期ののり養殖については、有明海沿岸等での栄養塩不足による色落ち被害等から、制度発足以来最高額の 41 億円の共済金をお支払いしたことはトピックス No.26 でお知らせしたとおりですが、平成 15 年度漁期についても瀬戸内海等で再び栄養塩不足による色落ちや赤腐れ等の被害が発生し、約 23 億円の共済金支払となる見込みです。

平成 15 年度漁期当初は、水温が高くのりの成長が遅れたものの、その後の生産は好調に転じました。しかし、2 月中旬頃から少雨であったことまた、当該海域でプランクトンが大量発生したことから、のりに栄養が回らず色落ちや赤腐れ等の被害が発生しました。特に、今回はのり生産が近年比較的安定していた愛知県や瀬戸内海を中心とした広範囲な被害となり、その中でも県間格差や漁場間格差の明暗が顕著に現れる結果となりました。(各県の共済金支払状況(一部見込み)は下表のとおり)

14 年度漁期に続き 15 年度漁期も多額の支払共済金になっているとおり、依然としてのり養殖業は厳しい経営状況を強いられております。更に、16 年度漁期についても梅雨時の少雨等がのり生産に悪影響を及ぼさないだろうか心配されているところです。特定のり養殖共済は、高い加入率であることからわかるように、のり養殖経営に「ぎょさい」はなくてはならないものになっております。「守るぞ、経営！ぎょさい新時代！」を合言葉に、私たちは今後他漁種についても加入率を向上させ「ぎょさい」で多くの漁業経営を守ることが出来ればと思っております。

(のり支払共済金支払状況) (百万円)

都道府県	H14 年度	H15 年度	都道府県	H14 年度	H15 年度
宮城県	3	47	徳島県	12	54
千葉県	13	16	香川県	418	270
神奈川県	-	9	愛媛県	39	32
愛知県	9	298	福岡県	1,761	635
三重県	61	49	佐賀県	1,262	82
兵庫県	262	602	長崎県	1	-
岡山県	30	38	熊本県	144	98
広島県	62	30	大分県	0.3	0.4
山口県	1	25	鹿児島県	0.09	3
			全国計	4,078	2,290